

一般質問



酒造好適米の安定供給について

なか もり ひろ ふみ

中森 博文 議員 自由民主党／名張市選出



問 県では県内各地の米を使った特色ある酒が造られ、国内外で高い評価を得ています。しかし、酒造好適米は主食用米と比べて単位収量が低く、生産も難しい米です。主食用米の価格が上昇する中、県内の酒造業の継続に向けた酒造好適米の安定供給について、県の所見を伺います。

答 県では、国が令和8年度予算で要求している酒造好適米の生産者への支援の活用とともに、技術指導等による収穫量と品質の向上を図り、作付けの継続につなげます。また、三重県酒造組合とともに、単位収量が多い普及価格帯向けと、高級酒向けの2つの新品種の育成を進めており、それぞれ令和11年度と13年度での品種登録出願を目指しています。今後も関係機関と連携し、酒造好適米の安定供給体制の構築に向けた取り組みを進めます。

その他の質問事項

- ガソリン減税について
- 「空き家」対策について ほか



アートをテーマにした三重の新たなプロモーション～豊かな自然を舞台に芸術祭の開催を～

い とう まさ よし

伊藤 雅慶 議員 新政みえ／三重郡選出



問 県には風光明媚な里海、離島、里山、里まちがあり、ふるさと三重の魅力をアートの力を借りて発信すれば、交流・関係人口が増加し、地域の課題解消・活性化等につながると考えます。今ある地域資源も新たな作品も表現次第でアートとなり、幅広い市民活動を包括できます。県の所見を伺います。

答 歴史文化、自然、食など特色ある地域資源等をアートとして評価し地域活性化に生かすことは、地域資源を活用したプロモーション手法の一つです。亀山市等が取り組む、アートをテーマとした地域のプロモーション事例も参考に、県のプロモーションの在り方を検討します。芸術や美術は、教養を刺激し、観光客を多くひきつけ、子どもの教育にも良い影響があると思いますので、そういった機会についても考えていきたいと思います。

その他の質問事項

- 獣害対策の強化と森林環境の再構築について
- 消防団員の確保と避難体制の強化について ほか



清流日本一宮川を目指す流域市町長からの宮川ダム毎秒2トン放流要望への対応

にし ば のぶ ゆき

西場 信行 議員 自由民主党／多気郡選出



問 令和5年に、宮川ルネッサンス協議会を構成する7市町長と鳥羽市長が、宮川の流量回復のため、宮川ダムからの毎秒2トン放流の要望を県に行いましたが、的確な回答がありません。宮川の流量回復と水質問題における県の責任と、要望に対して今後どのように対処していくのか、お伺いします。

答 宮川の流量回復は県としてしっかりと取り組んでいくべき課題と認識しています。「宮川のより良い流況に向けた流量回復等検討会議」を設置し、将来のダム直下毎秒2トンに近づけるよう検討を進めており、令和7年3月に利水者と全ての関係市町との意見交換会を初めて開催する等、新たな議論が動き出しています。今後も水質等の調査結果を蓄積し、宮川流域宣言に記載された地域の思いを踏まえ、丁寧に意見交換を続けます。

その他の質問事項

- 誰一人として取り残さない地域共生社会の実現
- 小規模事業者支援対策



治山事業の取り組みについて

ひ おき まさ のぶ

日沖 正信 議員 新政みえ／いなべ市・員弁郡選出



問 治山事業には、森林の維持・造成を通じて山地災害から県民の生命や財産を守る重要な役割があり、近年の豪雨等の異常気象に対応するため、新たな整備に加え、老朽化対策など計画的な整備が必要です。山地災害の発生リスクが高まる中、治山事業をどのように進めていくのか伺います。

答 県では、市町の要望を踏まえ、優先度や緊急性を考慮して計画的に治山事業を進めており、県内の山地災害危険地区⁷での整備着手率は、令和6年度末時点で54.3%です。年々増加する事業要望や物価高騰等による事業費の増加に対応するため、国の事業等を活用し、予算確保に努めるとともに、コスト縮減に繋がる新工法や新技術の導入に取り組むほか、みえ森と緑の県民税等も活用し、山地災害を防止するための総合的な治山事業を進めます。

その他の質問事項

- 観光振興対策について
- 消費生活相談について ほか



災害福祉支援センターの設置について

た なか とも なり

田中 智也 議員 新政みえ／四日市市選出



問 大規模災害発生時に被災者へ福祉サービスを提供するには、被災地外からの支援の調整が非常に重要です。南海トラフ地震に備えて、被災者支援を円滑にするための民間主導の災害福祉の専門機関として調整を担う災害福祉支援センターの設置が必要だと考えますが、いかがですか。

答 災害福祉支援センターは、12の県社会福祉協議会で設置されており、県ごとにその機能や役割はさまざまですが、幅広い活動に対応できる専門性の高い人材の確保等が課題です。県内の関係団体が参画する「災害時における福祉支援ネットワーク協議会」でこれまで進めてきた取り組みの課題を整理するとともに、他県のセンター運営状況を調査し、関係団体と意見交換をしながら、本県の地域特性に合った福祉支援体制の在り方を検討します。

その他の質問事項

- 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化について
- 三重の明日の文化の担い手について ほか



新型コロナとワクチンについて

ひろ こう た ろう

廣 耕太郎 議員 新政みえ／伊勢市・鳥羽市選出



問 新型コロナワクチンは、副反応例が多く報告され、効果が薄いという専門家もあり、高リスクと考えます。特にレプリコンワクチン⁸は多くの国で未承認です。県民の健康と命を考えると、泉大津市のように極めて慎重に判断するよう県がメッセージを出すべきと考えます。県の所見を伺います。

答 新型コロナワクチンは、国において有効性および安全性が確認された上で薬事承認され、定期接種が行われています。また、接種に対する努力義務はなく、個人の判断によるものとされています。ワクチン接種に関し、県民に対して「極めて慎重に」というメッセージを出すことは、県民がネガティブに捉える懸念があり、県が出すべきものではないと考えます。ワクチン接種は、あくまでも個人の判断に委ねることが適切だと考えます。

その他の質問事項

- 病院の面会時間について
- 自然災害対策について ほか